

【学校教育目標】

よりよく生きぬく釜っ子
たくましい子 よく考える子 思いやる子

【児童の実態】

- 既習事項を基に課題解決の見通しをもち、意欲的に学習する児童が増えた。
- 自分のタイミングで仲間と考えを交流し、互いの考えを理解しようとする姿が増えた。
- よりよい方法はないかとさらに考えを深めることに弱さがある。

【願う児童の姿】

- ・考えの根拠を明確にして、説明することができる。
- ・仲間と関わり、学び合う中で、数学的な見方・考え方を働かせ、自分の考えを深めることができる。
- ・自分の学習状況を見つめ、自己の課題に気づき、粘り強く学習に取り組むことができる。

【研究主題】

数学的な見方・考え方を働かせて主体的に学ぶ子
～小規模校ならではの個別最適な学びと協働的な学びのある授業～

【研究仮説】

一人一人の課題解決の仕方をとらえ、個別最適な学びと協働的な学びを充実していけば、数学的な見方・考え方を働かせて主体的に学ぶ子が育つであろう。

【研究内容1】

数学的な見方・考え方を働かせるために

- (1) 数学的な見方・考え方を明確にした「指導と評価の計画」
 - ・単位時間で活用する数学的な見方・考え方(必須アイテム)の位置付け
 - ・ねらいに応じた評価項目の精選
- (2) 正確な実態把握と児童一人一人を位置付ける指導案
 - ・児童の実態に応じて思考の流れを分類
 - ・ねらいに迫る明確な手立て

【研究内容2】

個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために

- (1) 数学的な見方・考え方を働かせる支援
 - ・個別最適な学び⇔協働的な学びの場面
 - ・全体追究の場面
- (2) 学びを実感できる終末
 - ・学習内容の定着の確認
 - ・自分の学びの言語化

授業の基盤として(釜戸小学校で大切にしてきた算数の授業)

- ・解決の見通しをもたせる指導(既習事項の確認・キーワードを位置付ける板書・ヒントカード)
- ・ICTの効果的な活用の仕方
- ・「意味や理由及びよりよい解決」に向かうための話し方、聞き方

